

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 29年 6月 第83号

「一緒にがんばりましょう」

統括 中島由貴

もう6月！早いもので新年度が始まってもう2カ月が過ぎましたね。学校や新しい生活には慣れましたか？ご家族のみなさまも生活の変化には慣れましたか？個別懇談では、皆様とたくさん貴重なお話しができました。ありがとうございました(*^)

実は私自身は、この数カ月で大きな家庭内の変化がありました。初めて福祉制度を利用する側になりました。私の祖母は82歳。(本人は92歳になった気です(笑))年齢的に物忘れも年々増えて、できていたはずの家事が出来なくなりました。急に食べれなくなり、意識も朦朧としてきたため

「おかしい！」と4件の病院を回りました。CTやMRI、血液検査等あらゆる検査をして出た結果は・・・認知症でした。しかも失語症が大分と進んでいるとのこと。そんな話をドクターから母と私が聞いている隣で祖母はニコニコ。先生から「大丈夫やでね～」と笑って声をかけると「ありがとね～。あんた良い人やね～」と嬉しそうに返事をする祖母。その姿を見て、悲しいのと、つらいのと、ほっとしたのと、かわいいのと可笑しいのと・・・いろんな感情が心の中でぐるぐるとしました。

そこからは夜になると緊張する我が家。私に通帳を渡すと言って家中を走ったり、父の彼女が出来て今2階に隠れとるんやとこっそり教えてくれたり・・・祖母に合う薬が見付かり、症状が安定した今となっては笑い話ですが(笑)祖母が祖母でなくなっていく不安と、何とか家庭の中で私が笑っていないといけないという謎の使命感にかられていました。今はヘルパーさんとデイを利用しています。

今はデイに行くために、無駄にオシャレをして30年前に履いていた靴を探したり、用意していた持ち物を片付けてしまったりと・・・毎日てんやわんやしております(笑)

しかし祖母が認知症になって初めて身近に感じるご家族の気持ち。デイには送迎バスに乗って行きます。バスに乗って行く姿を見ると、見えなくなるまで見送りたい。そして帰ってきた時に何だか元気がないと「デイで何かあったのかな？」と思ったり・・・最近では失語症が進み、「いってらっしゃい」が出てこなくなりました。きっと何かを言わないといけない気持ちや、言葉が喉まで出ているのでしょう。言葉にはならないので、まゆを寄せてにこっと笑うだけの祖母。大のおばあちゃん子だった私にはその笑顔が嬉しくて、同じくらい泣きだしそうに辛いけれど、毎日同じ様に笑顔返します。

光陽福祉会は私も含めまだ親になっていない職員も多く、数年で若い職員も増えました。だからこそご家族の気持ちを想像することしかできません。ただ今回私が福祉を利用する側になって初めて感じるいろいろな気持ち。保護者のみなさまとは比べられるものではありませんが、知らないよりもこの想いを知ることが出来てよかったと思います。ご家族の気持ちを100%知ることは難しいかもしれない。でも困った時、苦しい時、辛い時、どうしようもない時、嬉しい時に思い出して「光陽がいてくれるから」と思える存在で居たいと思います。「一緒に頑張りましょう」この一緒に・・・の言葉の心強さを改めて感じました。そう思っていてくれる人がいることが本当に嬉しかった。だからこそ、より一層保護者様と「一緒に」の心を大切にしたいと思います。

「一緒にがんばりましょう(*^)」

きっずサポートはぐくみ

ブクブクカップ ♪

後藤 成実

先日はぐくみではシャボン玉遊びを行いました。

皆が楽しめるように【ブクブクカップ】を用意。透明なコップの上には網がつけてあります。網にシャボン玉液を付けて、ストローから息を吹き込むと・・・ブクブクブク～！子どもたちは自分が吹いた息で泡が出るから楽しくて仕方ありません♪

なかなか泡が出ないと、「なんで出ないのかな～・・・もう一回！」と息を吹き込む子もいました。息の吹き方や吹く息の加減、そしてコップを持つ力加減。色んな所に意識を向けなくてはなりません。それでもやっぱりシャボン玉遊びはとっても楽しくて皆夢中でした(*^-^*)

これからも楽しみながら色々な事にチャレンジしていきたいです。



サポートセンターつぼみ

誰かのために

小島 信子

誰かのために、自分の時間を割いて何かをしてあげる。それは、時には大人でさえも難しいことです。そんな素敵な姿が最近の小学部ではたくさんあります。おやつを食べ終えて自分の分のゴミと一緒に隣の友達のゴミも捨ててにいてくれる。後から来所してきた仲間に今何をしているのか教えて準備と一緒にやってあげる。このような「誰かのために」がつぼみのあちこちで生まれていて、その微笑ましい光景にほっこりさせてもらっています。

しかし時にはその優しい気持ちが上手く伝わらない時もあります。「自分でやりたかったのに…」と。相手のことを思っただけの行動なのに、お互いに悲しい結果となってしまいます。そうならないようにお互いに「気持ちを表現する、伝える」ことを大切にしています。同時に困っている時に助けを求められること、誰かに助けてもらった時に感謝を示すことも大事にしています。今、子どもたちは理解ある大人に囲まれています。先に先にと支援してもらおう場面がほとんどと言えます。しかしそれは生涯得られる環境ではありません。彼ら、彼女達が将来「助ける」「助けられる」どちらの側でも気持ちよく過ごしていけるように、日々の関わりが将来に繋がっていくように小さな「誰かの為」を大切にしていきたいと思えます。



第2光陽

女の子らしく！男の子らしく！

出口 妙子

梅雨がやってきます。ジメジメする雨はちょっと…です。髪の毛ボンバーしますよね。朝ドライヤーでの頑張りも午前中でどこへやら…(笑)今年も中学生担当で良かった！こんな私でも「かわいい」と言ってもらえますので、救われます(´▽`)今回も彼らについて少し書きます。

中学生は、ご存じのように大きく成長する時期です。心も体も大きく変化します。男の子は声変わりしたり、ひげが生えはじめたりします。女の子は胸が膨らんだり、生理が本格的に始まったりします。日に日に変わっていく自分をどう受け止めたらいいいのか分からなくなることもあるかもしれません。彼ら一人ひとりが持っている思いを見つめていきたいですね。

最近、会話の中で急に机に伏せてしまうAちゃんの姿があります。すると、周りが気にして「どうしたの？」「何かあったの？」「大丈夫？」と聞いてくれます。悲しくて泣いているわけではありません。気にして欲しいのです。助けてくれる、優しくしてくれる相手の隣を選んで座るなんていうこともあります。

関わる職員によって態度を変えるBくんがいます。自分の苦手なことに向き合う時、ためらう気持ちから声掛けをかわそうとすることがあります。もし、できなかった時の姿を周りに知られたくはないのです。周りからどう見られているのかと強く意識しています。また、好きな相手の前での失敗は一大事なのです。好きな人に良く思われたい気持ちは分かりますね。

みんな思春期の真っただ中です。それぞれ少しずつこうした変化が伴います。心も体も大忙しい中学生の時期を今年も寄り添っていきたいと思います。

個別懇談では、家庭や学校での姿、将来への思いを伺うことができよかったです。ありがとうございました。今後も保護者様と相談をしながら支援できたらと思います。

第3光陽

充実した休息

槇田 文乃

GWが終わりました！いかがお過ごしでしたでしょうか？

「映画見に行ってきました！」「おばあちゃんの家泊まってきたよ！」「山に登ったよ！」

「BBQしたよ！」と楽しい思い出をたくさん語ってくれる子ども達(^▽^)

日々、学校で疲れた後にも、就労活動や生活訓練を頑張っている子ども達にとって休息の時間はとても大事なことと感じます。休息の時間が充実していると「また明日からも頑張ろう！」と思えますよね。私自身、仕事を始めてからそう実感しています。

第3光陽でも余暇の時間を大切にしています。週末には買い物や調理、部活動等子ども達がリフレッシュできる活動を取り入れています。日々頑張っているからこそ余暇の時間は思いっきり楽しんでもらいたいです。頑張る時には頑張る！休む時には休む！のメリハリをもって今後も頑張っていきましょう♪

